

品川区議会だより



第279号

令和2年(2020年)2月6日発行

発行／品川区議会 〒140-8715 東京都品川区広町2丁目1番36号

電話 03-5742-6810(直通) Fax 03-5742-6895

品川区議会のホームページアドレス <https://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/>



旗岡八幡神社(旗の台三丁目6番)

令和元年 第4回定例会

● 品川区のこのようなことが決まりました	2
● 第4回定例会の議決結果	3
● 意見交換会を行いました	4
● 区政をきく(一般質問)	5～11
● 本会議・委員会の日程(予定)	11
● 常任委員会の活動・特別委員会の活動	12～13
● 請願・陳情の結果	14
● 趣旨採択し、区長に報告を求めた請願・陳情について	15
● 後地小学校と清水台小学校の6年生が区議会本会議を傍聴しました	16

表紙の写真について

(志村誠一様撮影)

表紙に掲載の写真は、ご応募いただいた中から選ばれました。

品川区議会では、引き続き品川区議会だよりの表紙等に掲載する写真を募集しています。

詳しくは、品川区議会ホームページをご覧ください。区議会事務局調査係までお問合せください。

写真の掲載については確認済ですが、無断転載・転用は固くお断りします。
ユニバーサルデザインに配慮した書体・配色を使用しています。

第4回定例会の議決結果

全会一致で可決した議案

議案番号	件名
90	品川区災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
91	戸越台複合施設大規模改修機械設備工事請負契約の変更について
92	第二戸越幹線整備工事（下水道本管立坑整備）請負契約の変更について
93	第二戸越幹線整備工事（上流部シールド）請負契約の変更について
94	城南小学校校舎・幼稚園園舎改築工事請負契約の変更について
95	城南小学校校舎・幼稚園園舎改築給排水衛生設備工事請負契約の変更について
96	城南小学校校舎・幼稚園園舎改築空調設備工事請負契約の変更について
97	城南小学校校舎・幼稚園園舎改築電気設備工事請負契約の変更について
98	芳水小学校第2期校舎改築その他工事請負契約の変更について
99	後地小学校校舎改築その他工事請負契約の変更について
100	後地小学校校舎改築その他機械設備工事請負契約の変更について
101	後地小学校校舎改築その他電気設備工事請負契約の変更について
102	後地小学校外構整備その他工事請負契約
103	勝島歩道橋南側エレベーター設置工事委託契約の変更について

意見の分かれた議案

議案番号	件名	結果	自・無 (9)	自民 (8)	公明 (7)	共産 (6)	品改 (3)	ネット (2)	無所属議員 (50音順)				
									(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
104	品川区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	※ ○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
105	品川区長および副区長の給与および旅費条例の一部を改正する条例	可決	○	※ ○	○	×	×	×	○	○	○	○	×
106	品川区教育委員会教育長の給与および旅費ならびに勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	※ ○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
107	品川区監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	※ ○	○	×	×	○	○	○	○	○	×
108	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	※ ○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
109	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	※ ○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
110	学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	※ ○	○	○	×	○	○	○	○	○	×

○…賛成 ×…反対（数字）は所属議員数（議決日11月29日現在） 無所属議員は左から氏名の50音順で表記しています。

※自民のうち1名は議長の職務を行ったため、議決には加わりませんでした。

●会派名は次の略語で記載しています。

自・無……自民・無所属・子ども未来 自民……品川区議会自民党 公明……品川区議会公明党 共産……日本共産党品川区議団 品改……品川改革連合 ネット……品川・生活者ネットワーク

各議員の賛否はこちらのQRコードからご覧になれます→



議案審議
— 令和元年第4回定例会 —
品川区のこのようなことが
決まりました

会期15日間：令和元年11月28日～12月12日

今回審議した議案等は
区長提出議案……21件
請願・陳情………35件
計56件

※ 上記のうち、主な議案を以下のとおりご紹介します。

被災者支援の充実をめざし「災害援護資金」について改正を行いました

第90号議案 品川区災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

災害弔慰金の支給等に関する法律などの改正に伴い、被災者支援の充実を図る観点から「災害援護資金」の貸付条件等について見直しを行い、据え置き期間（3年）経過後の貸付利率を「一律3%」から「保証人ありの場合は無利子、保証人なしの場合は3%以内で規則に定める率」に、連帯保証人による保証を「必須」から「任意」にするなどの改正を行い、あわせて規定の整備等も行いました。

委員会での質問

Q 保証人を立てない場合の貸付利率は。

A 他区の利率の設定状況や東日本大震災での貸付利率等を勘案して、今後、3%以内の利率を規則で定めていきます。

※12月13日に改正された規則により、利率は1%になりました。

災害援護資金とは

災害援護資金とは、都道府県内で災害救助法が適用された市町村が1以上ある災害により、負傷または住居、家財に被害を受けた世帯主に対し、その生活の立直しに資するため、350万円を上限として貸し付けるものです。

区政をきく（一般質問）

一般質問

湯澤	若林	松澤	のだて	田中	須貝	渡部	高橋	横山	石田	塚本	11月28日(木)
一貴	ひろぎ	和昌	稔史	さやか	行宏	茂	しんじ	由香理	ちひろ	よしひろ	
議員(自民)	議員(公明)	議員(自・無)	議員(共産)	議員(ネット)	議員(品改)	議員(自・無)	議員(無所属)	議員(自・無)	議員(共産)	議員(公明)	

会派名は次の略語で記載しています。

自・無……自民・無所属・子ども未来 自民……品川区議会自民党 公明……品川区議会公明党
共産……日本共産党品川区議団 品改……品川改革連合 ネット……品川・生活者ネットワーク

令和元年12月31日付で「自民・無所属・子ども未来」より会派変更届が提出され、同会派の所属議員数は9名から8名に変更になりました。なお、横山由香理議員は会派に属さない無所属の議員となりました。

(上記の一般質問議員の紹介では、一般質問を行った時点の所属会派を掲載しています)

塚本よしひろ

議員
(公明)



台風15号、19号を受けての防災対策について

問 自主避難施設の定義と運営マニュアルの整備状況は。

答 この施設は、区長の決定で開設し誰でも利用できる。マニュアルは作成済み。

問 洪水や高潮を想定した避難施設の設置場所の検討と一人ひとりの避難行動を時系列に整理したマイタイムラインを普及促進せよ。

答 避難施設の設置場所については引き続き検討する。マイタイムラインについては、しながわ防災学校の風水害講座の中で啓発していく

子育て・教育における特別支援について

問 子ども発達相談室や児童発達支援の地域バランスを考慮した拡充を
答 荏原地区に児童発達支援センター

を設置するよう計画を進めている。

問 特別支援教室の各拠点校が担当する学校数や対象人数について、区の現状認識や適正化への考えを聞く。また特別支援教室と学校の連携強化について、現状を一步前に進める施策の検討を。

答 特別支援教室の利用人数は増加しており、拠点校の増設について検討している。学校との連携は、各学校に1名配置している特別支援教室専門員の専門性を高めていく。

しながらウェブネットワークについて

問 妊婦対応の講習を受けたドライバ

問答

ーが運転し、シートも破水防止仕様である陣痛タクシーの利用実態に応じた利用者負担軽減を求める。このサービスの情報提供に努める。

新生児1か月健診の受診状況と他の任意健診と同様に財調算定の対象となるように働きかけるなど、無償化への考えを聞く。

答 ほとんどのお子さんが受診していると考えられるが、財政調整交付金の協議は、特別区が連携して取り組む必要があるので、今後、研究課題とする。

・ 木造住宅密集地域の不燃化施策等

意見交換会を行いました

品川区議会では、議会改革の一環として、「区民に開かれた議会」「区民に身近な議会」の実現をめざし、平成 28 年度から毎年、私立品川女子学院の生徒さんとの意見交換会を開催しています。

今回も、品川区議会議員 13 人で構成する議会報告会等準備会議が中心となり、4 回目となる意見交換会を開催しました。また、初めての試みとして、高齢者クラブの皆様との意見交換会も開催しました。

以下、概要をお知らせします。

品川女子学院(令和元年11月21日)

私立品川女子学院（北品川三丁目３番）において、今回４回目となる中学１年生と品川区議会議員（議会報告会等準備会議メンバー等１４名）との意見交換会を行いました。

意見交換のテーマは、生徒の皆さんが地域の課題と感じている「若者の投票参加について」「歩きスマホについて」など5つの課題についてで、課題ごとに班に分かれ、グループディスカッションを行いました。

「選挙割のメリット・デメリットについて」や「歩きスマホをしてしまう要因等について」など、活発な意見交換が行われました。



高齢者クラブ(令和元年12月18日)

品川区役所議会棟にて、高齢者クラブの皆様と品川区議会議員との意見交換会を初めて開催しました。

意見交換のテーマは「高齢者クラブの課題と今後の活動について」で、6つの班に分かれ、グループディスカッションを行いました。高齢者クラブの皆様からは、「会員数が増えない」「活動場所が少ない」等、日常活動の中で感じている課題についての意見が出され、活発な意見交換会となりました。

最後に各班の代表者より、意見交換で出された課題やその対策案などについて発表していただき、参加者全員で情報を共有しました。



石田ちひろ 議員
(共産)

羽田新ルートの実機飛行まで2ヶ月 区長は品川区を低空飛行しないルートへの変更を求めよ

問 国が地元である品川区民の意思を無視して新飛行ルートを進めることが明らかになった今こそ、国に対して区民の意思を明確に示すために住民投票を行うべきでは。

答 意見の把握は、事業主体である国が行うべきものと考えている。今後も区民への丁寧な説明と情報提供を行うよう強く求めていく。

区民の財産の品川区役所を大井町の超高層開発に使うな

「99%黒塗り」の検討過程は公開し、建替えは住民参加で

問 区は現庁舎隣のJRの土地に新庁舎を建て、現庁舎跡に多目的施設が必要と提案したが、その検討報告書の99%が黒塗り・非公開であ

る。建替えは、検討の段階から情報公開と区民参加を進めるべき。

答 行財政改革特別委員会において議論いただき、検討を進めてきた。その後、町会・自治会や関係団体等に対し、経緯を説明している。

福祉の初心がいかせる職場へ介護・障害者事業所の人材確保ができるよう処遇改善策を

問 介護人材確保に一番の対策は処遇改善である。国や都に処遇改善交付金や家賃助成を求めるとともに、区としても独自に実施すべき。

答 特別区長会等で要望している。区としても、資格取得費用等の助成や、各法人職員に職員住宅を貸与するなどの支援を行っている。

南品川6丁目に建設予定の「無人ホテル」に住民の不安広がる 常駐者を義務付けた旅館業条例へ改正を

問 区は法改正を受け無人ホテル運営も認めたが、事故や迷惑行為など住民や宿泊者に危険が及んでからでは遅い。建設中止を求めるべき。

答 申請内容が法の基準を満たしていれば、不許可の判断はしない。近隣住民等からの意見等については設置者に伝え、説明会の開催や近隣への配慮等を指導している。

本多 健信 議員
(自民)

生活安全の強化について

防止や抑止力について。

問 生活安全サポート隊や町会・自治会等の地域の方々による防犯パトロール活動を積極的に行うとともに、区内警察署と連携協力し、成果の一つとして区内の刑法犯認知

答 件数の減少があげられる。
問 交番の機能整備について。
答 施設等の整備は難しい。
問 生活安全サポート隊によるパトロールを増やすとともに、所管の警察署にパトロールの強化を要請する。

同業組合存続の支援について

存続の支援について。

問 事業の共催や団体独自事業の会場確保等、協力連携関係の中で団体の活動支援を行っている。
同業組合の国保世帯数の現状につ

問 同業組合全体として減少傾向。区として同業組合を支える区内中小企業の人材確保、融資あっせん、事業承継支援など図る。

国際交流について
問 国際交流の成果物、取り組みが品川区政に多く関わっていることのPRについて。

答 パンフレットを2万部作成し区立学校の7年生から9年生まで全員に配布し、今後も国際交流をより身近に感じていただくよう広める。

価値観の共有を図るべき。
問 広報しながらで特集記事を組むなど、区民の誰もが価値観を共有できるよう取り組む。

廃プラスチックの処理施設
問 処理・焼却について。
答 自治体での処理、現時点では、要請ない。検討を要する際、23区清掃一部事務組合が判断する。

問 国からの通知においても、事業活動により排出された産業廃棄物は排出者の責任において処理することが原則である。
問 「その他の質問」

・大森貝塚を大井貝塚に改称するはたらきかけについて

横山由香理 議員
(自・無)

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現について

問 少子化対策・女性活躍のセンターピンは男性の育児休業取得である。区の職員や区内企業の男性育児休業取得率向上と義務化の検討を。

答 政府が国家公務員の男性職員に育児休業の取得を促す方針を検討しており、その動向を注視していく。

地球温暖化を考慮した水害対策の強化について
問 水害は予測可能な災害である。予測後の情報提供のタイミング、手段等、きめ細やかな情報伝達を。

答 様々な媒体を活用し、今後も区民が必要とする情報を必要な時に確実に伝達できるよう努めていく。
情報化の進展と生きる教育について
問 生命の大切さをしっかりと考え、

生きていくための教育として、性教育を含めた生きる教育を進めることを要望する。ゲストティーチャーを活用した市民科の生きる教育のさらなる充実を。

児童虐待防止推進のための親支援について
答 医師や心理職等の外部講師を活用した授業を展開しており、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送れるよう生きる力を育んでいく。

問 配偶者への暴力や夫婦げんか等の面前DVは虐待相談件数増加の最も大きな要因である。面前DVを減らすための対応について見解を。

答 子どもへの心理的虐待防止の啓発に努めるとともに、面前DVが子どもの成長や発達に与える影響を丁寧に説明し、防止を図っている。

問 子どもを虐待してしまった親には依存症の方もいる。依存症の可能性がある親への予防・治療等の対策の強化を要望する。

答 虐待をする親が何らかの依存症の場合は早期の治療や支援が必要となるため、保健センター等とも連携しながら対応していく。
「その他の質問」
・支え手としての若者の活躍推進について

高橋 しんじ 議員
(無所属)

教育・福祉について

①児童相談所開設への人材確保の解決策

は。②保育園・幼稚園への特別支援巡回相談を来年度は、さらに充実した体制に。③特別支援での幼稚園・保育園・小学校の連携について。

答 ①都や近隣政令指定都市等への派遣研修を継続し、管理監督者等は、外部人材登用も視野に入れる。②昨年度から拡充した。現在の体制で実施する。③情報共有のためのシステム構築等検討する。④増設を検討中。⑤経験等に応じた研修メニューの選択肢を増やす等行う。

産業振興について
問 他区で商店街への補助金の不正受

給が発生。本区の対応は。イベント事業経費の適切な管理に関し、各商店街に注意喚起をした。

区政運営について
問 ①来年度以降、RPA(ロボティクス・プロセス・オートメーション)を導入する業務の拡大やAI・OCR(AIによる光学的文字認識)導入を。②障害を持った方の配属先の職場で職員全員がフォローする準備ができていますか。

答 ①AI・OCRの導入も含め、RPAの拡大の検討を始めている。②障害者雇用促進法の趣旨に基づき、各職場で合理的配慮を行うことで、誰もが働きやすい職場環境とする。

まちづくりについて
問 元ニューヨーク市交通局長カーン女史の「ストリートはキャンパス」という道路への新しい視点を品川のまちづくりに取り入れては。街路空間の整備等、人々を中心にしたまちづくりが重要と考える。広町地区でも歩行者の視点を取り入れた検討をする。

「その他の質問」
・予算編成過程の可視化について
・学力定着度調査について

渡部 茂 議員
(自・無)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について

問 ホストタウンや合宿誘致などの取り組みについて所見を。

答 区内に大使館があるコロンビア共和国のホストタウンとして交流を重ね、ボッチャ選手団等の事前キャンプを受け入れている。

問 開催会場付近の清掃活動など、区内の小中高生がオリンピックに参加したという意識向上に向けた取り組みを。

答 ご提案も含め、子どもたちの心に残る大会になるよう努めていく。

区政運営について

問 区民向けの基本計画概要版を小中高生向けなど世代、年代別に制作し、実現のためにそれぞれの意見、考えを聞く場面を設けては。

答 総合実施計画に、子どもたちの意見を生かすことは、自らが品川区の将来をつくることにもつながる。子どもたちからの意見を聞く機会については検討をしていきたい。

問 区長には先を見据えた大胆な施策を行うことに期待する。10年後の品川区のあるべき姿は。

答 訪れたい、住みたい、住み続けたいと思える魅力的で持続可能な品川区を築いていく。

品川の教育について

問 義務教育課程において、将来社会で活躍できる人となるべく、生き抜く力をどう身につけるか。

答 次の世代を生きる児童・生徒には、複雑化する社会を生き抜くための新たな価値を創り出す能力などを育むことが大切だ。そのため、市民科を始めとした授業づくりや特色ある教育活動に取り組んでいる。

品川の福祉について

問 福祉ボランティアと考えてしまつと敷居が高く、一歩踏み出す勇氣に欠けてしまつことがある。日ごろの活動から身近な福祉に協力いただくための冊子など作成を。

答 福祉のボランティアには様々な関わり方があるので、身近なところから取り組めるよう、分かり易い周知に努めていく。

須貝 行宏 議員
(品 改)

消費税が増税されたなら区長と議員は身を切るべきです

問 暮らしや企業の経営が厳しいなかで、消費税の増税により区民にさらなる負担を強いながら、区民から選ばれた区議会議員と区長は責任をとって身を切るべきではありませんか。

答 区長や区議会議員の給料や報酬、期末手当の額は報酬等審議会での審議等を経て、議会の議決により条例をもって定められている。

問 介護の崩壊をくい止める。介護職員の不足で施設の破産が増えている。

答 低賃金と労働環境の悪化により、若者の介護職離れが進み、民間の施設では、介護職員が不足し介護施設の倒産が増えている。いわゆる介護の崩壊が始まっています。

増え続ける老々介護、介護離職者や家庭崩壊はいまや社会問題にもなっています。職員が介護で生計を立てていける賃上げと労働環境の改善に取り組むべきでは。

答 各事業所は介護職員の処遇向上や勤務環境改善にも取り組み、区も職員に対するさまざまな助成や職員住宅の貸与等の支援を行っている。これからの介護人材の確保・定着に努めていきます。

停電時に救援できずに孤立する中高層マンション居住者について

問 停電時に、タワーマンションや中高層マンションは、トイレ、水道、エアコン、冷蔵庫、エレベーター等が使用できないため、陸の孤島となり、過酷な生活環境に変貌するだけでなく、救助や救援が難しいので、避難場所には適さないのではないか。また孤立させないために停電に備えて発電機設置を義務づけたらどうか。

答 自宅で生活できる状況であれば、在宅避難を勧めている。在宅避難が難しい場合は、必ずしも自宅にとどまる必要はなく、区民避難所や親戚・知人宅などへ避難していただきたい。また発電機設置の義務づけは考えていません。

田中 さやか 議員
(ネット)

子どもの権利条約に基づく区の施策、教育現場の子どもへの暴力・体罰の禁止について

問 「品川区立学校における体罰等の実態把握」と、学校現場で起きている事例に乖離がある。廊下に立たせること殴ることは体罰として明確。なぜ報告に挙がらないのか。

答 ご指摘の情報だけで判断できない。子どもオンブズパーソンなど独任制の公的第三者機関の設置は急務であり、改めて強く求める。

問 子どもが性虐待に遭いながら気づかずにいる危険な状態がある。子どもにかかわる団体が実施する性教育を学ぶ機会の周知を求める。

答 学校や保育園・児童センターをは

庁舎のあり方の検討について

問 議会全体に諮ることもなく、賛否も取らずに広町地区への庁舎建設、移転を前提として政策が誘導されている事態に強く抗議し、認めることはできない。

答 行財政改革特別委員会の具体的検討事項のまとめで出ている。各委員会から議会に出され議会了承を得た上で区長宛てに出されてお

問 経営会議記録要旨では議論の経緯が一切わからず区庁舎建てかえの検証が必要となった場合に検証に耐え得る行政資料とは言えない。

答 これを公文書として適切と考えるのか？この要旨以外に公文書として保存されているのか？

答 公文書として適切。これ以外の経営会議の資料は用意していない。

羽田新飛行ルート計画について

問 学校や園の屋外活動や、登下校や登降園への影響について区の見解と具体的な対策を問う。外遊びのできない区は子育てに不適切なま

答 子どもの活動環境を含め、環境影響の低減に向けた取り組みを国に強く求めていく。

のだて 稔史 議員
(共 産)

戸越の住民が築いてきた商店街と街並みを壊すな 29号線道路と戸越公園駅前19番地再開発は中止を

問 まちづくり協議会の計画によると、戸越公園駅周辺に17棟の超高層ビルが描かれているが、私が行ったアンケートでも7割の方が超高層は相応しくないと回答。親しみのある商店街を壊さないでほしいなどの意見がなぜ計画に反映されないのか。住民が望んでいない19番地再開発は止めるべき。

答 地元の発意により進めている。防災性向上とにぎわいの創出は区も引き続き支援と指導を行っていく。

台風19号の教訓をいかし、住民避難施設の改善など水害対策強化を

問 台風19号で多くの区民が避難を経験した。その環境は毛布1枚、水と食料も夜中12時まで提供されな

増え続ける老々介護、介護離職者や家庭崩壊はいまや社会問題にもなっています。職員が介護で生計を立てていける賃上げと労働環境の改善に取り組むべきでは。

答 各事業所は介護職員の処遇向上や勤務環境改善にも取り組み、区も職員に対するさまざまな助成や職員住宅の貸与等の支援を行っている。これからの介護人材の確保・定着に努めていきます。

停電時に救援できずに孤立する中高層マンション居住者について

問 停電時に、タワーマンションや中高層マンションは、トイレ、水道、エアコン、冷蔵庫、エレベーター等が使用できないため、陸の孤島となり、過酷な生活環境に変貌するだけでなく、救助や救援が難しいので、避難場所には適さないのではないか。また孤立させないために停電に備えて発電機設置を義務づけたらどうか。

答 自宅で生活できる状況であれば、在宅避難を勧めている。在宅避難が難しい場合は、必ずしも自宅にとどまる必要はなく、区民避難所や親戚・知人宅などへ避難していただきたい。また発電機設置の義務づけは考えていません。

児童相談所開設は民間委託をやめ、子どもの命を守り最善の利益を保障する体制整備で

問 児相は子どもの命を守り、子どもの権利・最善の利益を保障する体制こそ。区が2022年開設を目指す区立児相は十分な人員配置数と経験年数の多い職員の確保こそ必要。できなければ開設時期の延期をすべき。

答 人材が最重要課題である。採用計画を現在つくっており、人材の育成も図っていききたい。

問 なぜ通告後の安全確認や家庭再統合、保護者支援など児相の中心業務を「民間委託を積極的活用する」という方針としたのか。民間委託は止めるべき。

答 業務を効果的・効率的なものとするため。専門性や区のかかわり方など委託の可否を慎重に検討する。

松澤 和昌 議員
(自・無)

避難所について

問 台風による初の自主避難施設設置の際の問題点や課題について。またペット同行避難はどうだったか。

答 11施設を開設。414名の方が避難。開設に関する事前の周知や要配慮者対応など課題が見つかった。ペット対応は全ての施設で受け入れる方針で対応を行った。

問 台風と地震では避難所への考え方が違う。台風に関する避難所のあり方を検討するべき。

答 風水害時における避難所運営のあり方については検討が必要である。しながら防災学校のカリキュラムは改善を検討する。

地域と自治体の協働について

問 品川区における地域コミュニティの多様な主体をどのように捉え、どんな活動支援を行っているのか。

また新たな担い手として企業・NPOと手を繋ぐ共創の考え方にについて問う。

答 町会・自治会に対する新規事業応援補助制度のほか様々な支援活動をしている。現在相談窓口の整備を進めコーディネーター機能の強化を図っていく。町会・自治会や多くの活動団体が繋がりをもちサポートし合える仕組みを構築する。

高齢者施設・認知症対策について

問 介護人材不足に対する対応は？現在、人材不足による影響はないが、ICT活用や外国人材の雇用など検討している。

答 障がい・認知症学習について。市民科にて障がいのある方やお年寄りと接する授業を行っている。

問 認知症サポーターについて。講座で得た知識を生かして適切に接していく事が最も大切である。

問 初期集中支援チームについて。医療、介護職4、5名による区内2チームが活動中。12件に対応している。

問 障がいのある方でも働ける場所を。制度化されたものはないが、自分らしく暮らせる地域づくりに取り組んでいく。施設整備については検討していく。

湯澤 一貴 議員
(自・民)

地域防災力の強化について

問 首都直下型地震が発生した際に、区内避難所の収容人数12万人で足りるのか。

答 避難所や補完避難所のほかに、区や都の施設および区と締結した民間施設などの一時滞在施設で受け入れる。今後も民間事業者等と災害時協力協定を締結していく。

問 避難所で高齢者や歩行困難者のためのバリアフリー化対策や、多目的仮設トイレの設置状況はどうか。

答 避難所となる学校の1階部分の段差をできる限りなくし、今後改築に合わせてバリアフリー化を進めていく。車いす対応トイレが設置されていない避難所では27基の車いす用仮設トイレで対応する。防災資機材整備助成金を上限5万円から20万円に増額を。

問 防災区民組織から防災資機材充実の声もあり、近年の災害を踏まえ新たな備えとして増額を検討する。

問 コミュニティバスについて。検討の進捗と今後のスケジュール。

答 本年8月の第1回地域交通検討会にて、人口分布・公共交通の現状・アンケート等データに基づき、導入すべき地域の選定に必要な検討を進め、令和2年3月の試行運転路線の選定方針を議論していく。

問 民生委員の在り方について。民生委員年齢制限見直しについて。

答 民生委員年齢制限見直しについて。年齢要件の緩和を都へ要望をしてきた。民生委員の実態や当事者の方の意見を尊重し、必要に応じて都に要望していく。

問 民生委員協力は自治体のように民生委員を直接サポートすべき。主に欠員補充のために委嘱している。支え愛・ほっとステーションに2人のコーディネーターを配置し、民生委員と連携を図り負担軽減に努めている。

問 発達障害について。障害認定者の就労移行支援における支給決定を短縮できないか。

答 本年10月に指定特定相談支援事業所を4か所から7か所に増やし、さらに円滑な対応を進めていく。

若林 ひろき 議員
(公・明)

防災・減災について

問 避難所の空調設備の整備状況と停電時の対策は。

答 区立学校31校は整備完了、今年度中に2校、令和3年度までに10校で整備予定。停電時対策は、バス事業者との協定を調整中、スポンサー等と協定を調整中、スポンサー等と協定を調整中、スポンサー等と協定を調整中。

問 目黒川流域集合住宅の浸水対応は。ファミリー西五反田東館地下2階には電気機械室があるが、荏原調節池の他、河川からの逆流防止装置などの対策を行っている。民間集合住宅では、防災アドバイザーを派遣する際には、浸水・水害対策に関するアドバイスをを行う。

問 防災アプリの早急な作成を求める。まずは防災行政無線の補完手段としての活用を検討し、防災情報全般を扱う拡充を考えている。自動受信機能つきデジタル対応型防災ラジオの導入を求める。

問 防災行政無線のデジタル化工事が完了する令和3年度末までに対応できるように努める。

問 健康について。帯状疱疹ワクチンの定期接種化検討状況と区助成の考え方は。

答 ワクチン効果の持続期間や対象年齢等の検討が国で行われている。区助成は国の動きを注視する。

問 区内医療関係者と連携した公開講座など、がんの理解促進を。

答 区では関係機関と連携し対策を進めていく。さらに連携を深め、がんの理解促進に取り組む。

問 歯科医師等の口腔がん検診への取り組みへの評価や支援の考えは。

答 検診希望者が年々増加傾向にあり、口腔がんの認知度向上になっていることから、活動への支援のあり方を検討する。

問 後期高齢者歯科健診の毎年実施を求める。

答 今年度76歳と78歳を対象に開始したが、対象年齢の拡大を検討する。『その他の質問』医療的ケアと地域生活支援拠点等について

本会議・委員会の日程 (予定)

令和2年第1回定例会本会議の会期は2月19日から3月27日までです。

会議名		開催日時
本会議	総務	2月19日(水)午後1時
	区民	2月20日(木)午前10時
	厚生	2月21日(金)午前10時
	建設	3月27日(金)午後1時
常任委員会	文教	2月25日(火)午前10時
	建設	2月26日(水)午前10時
	建設	2月25日(火)午前10時
	文教	2月26日(水)午前10時
議会運営委員会		2月18日(火)午前10時30分 3月26日(木)午前10時30分
特別委員会	行財政改革	2月27日(木)午前10時
	オリンピック・パラリンピック推進	2月28日(金)午前10時
	予算※	3月3日(火)・4日(水)・6日(金)・9日(月) 10日(火)・12日(木)・13日(金) ※各日ともに午前10時
	総括質疑	3月23日(月)午前10時

※予算特別委員会の款別審査では、予算を分野ごとに審査します。最終日の総括質疑では、款別審査の内容等をふまえ、総合的に質疑を行います。

*本会議・委員会は傍聴できます。日程等は変更になる場合がありますので、事前に区議会事務局までお問い合わせください。

*本会議は区議会ホームページでインターネット生中継をしています。インターネット録画中継も、本会議は終了後おおむね1週間後に、予算特別委員会の総括質疑は終了後おおむね2週間後にご覧いただけます。

ケーブルテレビ
放送予定

本会議の区長施政方針、代表・一般質問、予算特別委員会の総括質疑の様子は、ケーブルテレビ品川の「品川区民チャンネル」で放送予定です。放送予定日は以下のとおりです。

● 放送予定日

・本会議
(区長施政方針、代表・一般質問)
2月24日(月)～2月28日(金)
(再放送)2月29日(土)・3月1日(日)

・予算特別委員会総括質疑
3月27日(金)
(再放送)3月29日(日)

研修会・講演会を実施しました

第22回議員研修会

(令和元年11月14日)

“LGBTは「いない」のではなく「見えていない」と題して、渋谷区総務部男女平等・ダイバーシティ推進担当課長の永田龍太郎氏を講師としてお招きし、ゲストスピーカーの鈴木茂義氏とともに、LGBTに対する取り組みなど、多様性社会の推進に向けての講演をしていただきました。



研修会の様子



講師の永田龍太郎氏（左）とゲストスピーカーの鈴木茂義氏（右）

議員防災講演会

(令和元年12月13日)

“品川区議のための防災施策ポイント”と題して、災害対策研究会主任研究員兼事務局長の釜石徹氏を講師としてお招きし、災害への備えや防災の取り組みなどについて講演をしていただきました。



講演会の様子



講師の釜石徹氏

特別委員会の活動

11月～12月

11月から12月末までの委員会の主な活動は次のとおりです。

行財政改革特別委員会

11月12日「区組織と関連団体に関すること」をテーマに、公益財団法人品川文化振興事業団の概要や区との関係等について調査・研究。

12月5日「庁舎のあり方に関すること」をテーマに、区役所庁舎建て替えに関し、区の取り組み状況や今後の検討方法等について調査・研究。



オリンピック・パラリンピック推進特別委員会

11月13日 ほんせんじ品川寺を視察。
旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会と区の共催で実施している文化観光やにぎわい創出などの事業概要やその進捗状況について品川寺を視察し、「文化プログラムの推進に関すること」をテーマに調査・研究。
コロンビア共和国のホストタウン登録の報告について質疑。

12月6日 オリンピック・パラリンピック教育アワード校である区立八潮わかば幼稚園を視察し、「オリンピック・パラリンピック教育に関すること」をテーマに調査・研究。
東京2020パラリンピック聖火リレーの報告について質疑。

厚生委員会

11月11日 陳情審査3件。
報告4件（「しながわ健康プラン21」中間・評価見直し（素案）およびパブリックコメントの実施など）について質疑。
「母と子の健康施策の推進について～しながわネウボラネットワーク～」をテーマに調査・研究。

12月2日 陳情審査4件。

12月3日 品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設（東品川ゆうゆうプラザ）運営事業者の選定の報告について質疑。
「地域共生社会の推進について～医療と介護の連携～」をテーマに調査・研究。

建設委員会

11月11日 陳情審査5件。
報告8件（大崎駅周辺地域および西五反田三丁目地区のまちづくりなど）について質疑。
「まちづくりの進め方について」をテーマに調査・研究。

12月2日 議案審査1件。
請願審査3件。
報告2件（専決処分報告）について質疑。

12月3日 報告8件（「東京における都市計画道路の在り方に関する基本方針」の策定・公表など）について質疑。



文教委員会

11月11日 陳情審査1件。
報告4件（令和元年特別区および東京都人事委員会勧告の概要、令和元年度各種学力調査の結果など）について質疑。

11月28日 議案審査2件。

12月2日 請願・陳情審査7件。
「子どものための特別支援について」をテーマに調査・研究。

12月3日 報告10件（旧三井文庫第二書庫の国登録文化財への答申、令和2年度入学希望申請の状況など）について質疑。

常任委員会の活動

11月～12月

11月から12月末までの委員会の主な活動は次のとおりです。

総務委員会

11月11日 報告6件（予算編成過程の公表、令和元年職員の給与等に関する報告及び勧告の概要など）について質疑。

11月28日 議案審査5件。

12月2日 議案審査13件。
陳情審査1件。

12月3日 報告2件（品川区長期基本計画の策定状況、台風19号被害に伴う山北町、早川町への見舞金）について質疑。
「ふるさと納税について」をテーマに調査・研究。

区民委員会

11月11日 報告3件（第20回品川区中学生の主張大会など）について質疑。
品川産業支援交流施設（SHIP）を視察。

12月2日 請願審査1件。
「都市型観光について～商店街支援（外国人受け入れ等）について～」をテーマに調査・研究。

12月3日 「羽ばたけ！アントレーヌ」の開催の報告について質疑。
大井競馬場を視察。



付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結 果
文教委員会	区立保育所のネットワークカメラの設置に関する陳情	令和元年 陳情第54号	不採択
	保育所におけるいじめの実態調査に関する陳情	令和元年 陳情第55号	不採択
	品川区立学校図書館への学校司書配置に関する陳情	令和元年 陳情第56号	不採択
	ともに学ぶ教育環境を整えることを求める陳情	令和元年 陳情第63号	不採択

採 択：区議会として、ご希望に賛同します。 趣旨採択：区議会として、ご希望の趣旨に賛同します。
不 採 択：区議会として、ご希望に賛同しかねます。 継続審査：区議会として、引き続き慎重に審査します。
(※は12月12日の本会議最終日に付託されました)

趣旨採択し、区長に報告を求めた請願・陳情について

本会議で趣旨採択し、区長に報告を求めた請願・陳情の処理経過および結果について、議長あてに報告がありましたので、次のとおりお伝えします。

区立荏原児童遊園の一部廃止ならびに再整備等に関する陳情

令和元年7月29日に都市計画課の窓口において直接陳情者本人に対し、陳情内容の「区立荏原児童遊園の一部廃止をどこの課がどのような理由で行ったのかを知りたい」、「区立荏原児童遊園の一部廃止に伴う周知方法、周知範囲について知りたい」、「児童遊園敷地の売り払いが町会会館の移転が前提なのか知りたい」について、丁寧に説明を行いました。

荏原一丁目町会会館移転等に関する陳情

令和元年7月29日に都市計画課の窓口において直接陳情者本人に対し、陳情内容の「荏原一丁目町会会館の区立荏原児童遊園への移転がどういった経緯で決定したのか知りたい」、「移転先の面積が現町会会館敷地の放射2号線の計画線内の面積と異なる理由を知りたい」について、丁寧に説明を行いました。

ビーチバレーボール、ホッケー、ブラインドサッカーを
全力で応援していきます！

～品川区三競技応援議員連盟を結成しました～

品川区内開催競技のビーチバレーボールとホッケーおよび品川区応援競技のブラインドサッカーを応援する議員連盟を、品川区議会議員有志が会派を超えて結成しました。

令和元年12月11日に本会議場で行われた発会式には、ビーチバレーボールの倉坂正人選手、ホッケーの

小野真由美選手、ブラインドサッカーの川村怜選手をはじめ、各競技団体からの来賓も出席してくださいました。

品川区三競技応援議員連盟では、今後、東京2020大会に向け、それぞれの競技を応援するさまざまな取り組みを行っていきます。



発会式での集合写真

請願・陳情の結果 令和元年第4回定例会

品川区議会議長あてに提出された請願・陳情について、結果をお知らせします。
請願・陳情についての議事内容等は、各付託委員会等の会議録から確認できます。

付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結 果
総務委員会	品川区のタウンミーティングの復活に関する陳情	令和元年 陳情第58号	不採択
	情報公開請求に必要な研修の実施を求める陳情	令和元年 陳情第66号	継続審査※
区民委員会	選択的夫婦別姓制度の国会審議を求める意見書を国に提出することを要望する請願	令和元年 請願第21号	継続審査
厚生委員会	南品川6-7-18の土地のホテル計画に関する陳情	令和元年 陳情第35号	継続審査
	高齢者への補聴器購入費用の助成を求める陳情	令和元年 陳情第43号	継続審査
	障害者が安全に利用できる心身障害者福祉会館の整備を求める陳情	令和元年 陳情第45号	不採択
	一元化した指定管理による障害児者総合支援施設の管理運営を求める陳情	令和元年 陳情第46号	不採択
	卒後の壁～障害者のいる家族が働き続けることができるよう支援を求める陳情	令和元年 陳情第50号	不採択
	移動支援サービス事業者を増やす研修の実施を求める陳情	令和元年 陳情第51号	不採択
	品川区旅館業施行条例を、常駐者を義務付けた内容に改正することを求める陳情	令和元年 陳情第57号	不採択
	「品川区障害福祉計画・障害児福祉計画策定のための基礎調査」の選択肢の偏りに関する陳情	令和元年 陳情第59号	不採択
	障害児者総合支援施設の施設長を設置するよう区長に求める陳情	令和元年 陳情第64号	継続審査※
	特定相談・障害児相談支援事業所を増やすよう区長に求める陳情	令和元年 陳情第65号	継続審査※
	地域自立支援協議会の議事録における反対意見の掲載見送りに関する陳情	令和元年 陳情第67号	継続審査※
	「計画」で需要増を見込み、担い手の確保をうたっている移動支援の従業者養成研修の実施についての陳情	令和元年 陳情第68号	継続審査※
	障害児相談支援事業所について民間事業所経由で配布された課長名義の文書についての陳情	令和元年 陳情第69号	継続審査※
建設委員会	武蔵小山駅周辺再開発の環境調査実施と計画見直しを求める請願	令和元年 請願第18号	不採択
	住民の合意が得られない放射2号線道路計画の中止を求める請願	令和元年 請願第19号	不採択
	品川区C地区の生活権に関する請願	令和元年 請願第20号	不採択
	羽田増便による新飛行ルートの「教室型説明会」を引き続き開催することに関する陳情	令和元年 陳情第17号	継続審査
	便利なコミュニティバスの運行を求める陳情	令和元年 陳情第18号	不採択
	八潮団地から気軽に外出できるようコミュニティバスの運行を求める陳情	令和元年 陳情第21号	不採択
	羽田増便による新飛行ルートの＜教室型説明会＞を引き続き開催することに関する陳情	令和元年 陳情第34号	継続審査
	区議会決議を尊重して国交省に撤回を求めるよう区長に求める陳情	令和元年 陳情第37号	継続審査
	高齢者が気軽に出かけられるようコミュニティバスの運行を求める陳情	令和元年 陳情第44号	不採択
	「百反通り」にコミュニティバスの運行を求める陳情	令和元年 陳情第48号	不採択
	上大崎・東五反田・北品川地域にコミュニティバスの運行を求める陳情	令和元年 陳情第49号	不採択
文教委員会	品川区私立幼稚園保護者負担教育費の軽減に関する請願	令和元年 請願第17号	採択
	ひろまち保育園閉園に関する陳情	令和元年 陳情第47号	不採択
	区立保育所の苦情解決を行う独立した第三者機関の設置に関する陳情	令和元年 陳情第52号	不採択
	区立保育所の人権侵害に関する陳情	令和元年 陳情第53号	不採択

うしろじ しみずだい
後地小学校と清水台小学校の6年生が
区議会本会議を傍聴しました

区立後地小学校(小山二丁目4番)と区立清水台小学校(旗の台一丁目11番)の6年生が、11月29日に本会議の一般質問を傍聴しました。傍聴した児童から寄せられた感想の一部をご紹介します。

- 緊迫した空気の中で、議員の人たちなどが会議しているのを見て、こういうふうに品川区がつくられているんだと知ることができました。とても貴重な体験をすることができました。

- 今日の会議のようすを、授業で討論会をするときに活かしたいです。

- とても意見を強く主張していて迫力がありました。座ったときはとても緊張しました。

- 議長が、発言する人の名前を呼ぶときに「くん」をつけていてびっくりしました。資料を見ながら話すのかなと思っていたら、タブレットを見ながらしゃべっていて、こんなところまで電子化されたんだと思いました。

感想の全文は区議会ホームページで公開中です



後地小学校の皆さん(写真左側)



清水台小学校の皆さん(写真右側)